

い・ま・も

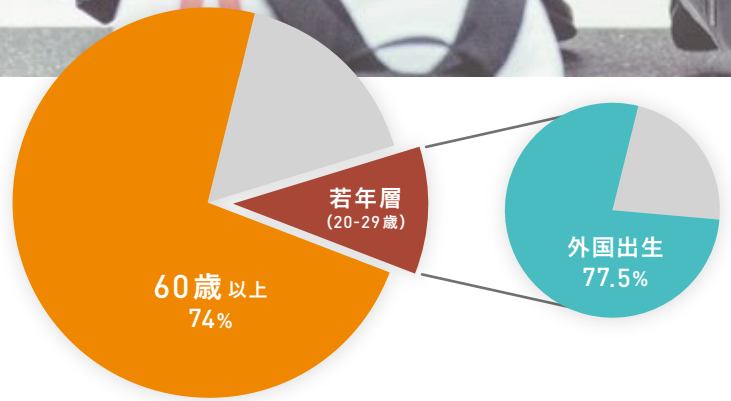
1日平均

28

人が

結核と診断されています。

せき・たんが2週間以上続いたり、
微熱や体のだるさが続く場合は、
早めに医療機関を受診しましょう



- ・新規結核患者は、高齢者に多く、およそ3/4 (74%) は60歳以上
- ・特に若年の外国生まれの患者の割合が増加しており、若年層 (20-29歳) の新規患者のおよそ3/4 (77.5%)



結核に関する5つのQ&A

Q1 結核の症状にはどんなものがあるの？

A1 結核の症状（長引く咳、たん、微熱、体のだるさなど）には特徴的なものがなく、初期には目立たないことが多いため、特に高齢者は気づかないうちに進行してしまうことがあります。咳やたんが2週間以上続いたり、微熱や体のだるさが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

Q2 結核はどうやってうつるの？

A2 結核が進行すると、咳やくしゃみなどによって、空気中に結核菌が飛び散るようになります。その結核菌を吸い込むことにより周りの人に感染が広がります（空気感染）。

Q3 普段から気を付けることは？

A3 定期的に健康診断を受けることが重要です。結核を発症しても、早期に発見できれば重症化を防げるだけでなく、家族や友人等への感染拡大を防ぐことができます。

Q4 どんな人が結核と診断されているの？

A4 新規結核患者は、高齢者に多く、およそ4分の3が60歳以上となっています。また、特に若年の外国生まれの患者の割合が増加しており、20-29歳の新規患者のおよそ4分の3を占めています。

Q5 結核は治療すれば治るの？

A5 結核は通常、薬（抗結核薬等）を医師の指示通りに飲めば治ります。一般的な治療期間は6か月～9か月となります。治療途中で薬を飲むのをやめてしまったり、指示された通りに薬を飲まなかったりすると、結核菌が薬に対して抵抗力（耐性）を持ってしまい、薬の効かない結核菌（耐性菌）になってしまう可能性があります。医師の指示を守って、治療終了まできちんと薬を飲み続けることが最も重要です。

